第2回 全日本社会人バスケットボール選手権大会 四国ブロック予選 《決勝戦》 個人得点表

【男子】 2020年1月19日 ツインパル長尾体育館

		15 － 23			
		20 － 13			
クリッパークラブ	59	10 － 17	64	徳島クラブ	
		14 － 11			
		－			

クリッパークラブ

No.	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
0	國方 俊吾	3	1			3
1	鎌田 竜次	0				
2	上野 夢翔	0				
3	福本 紅輝	0				
5	奥田 真大	3		1	1	1
6	河津 郁巳	7	2		1	3
7	福田 達也	6	2			1
11	松野 創	0				
15	東原 祐哉	0				
23	山下 和樹	0				
24	高橋 海人	0				
29	濱野 富之	5		2	1	3
34	池本 宗太朗	20	2	7		3
50	井上 智博	15	2	4	1	3
合計		59	9	14	4	17

監督	山下 浩二
コーチ	黒田 泰紀
ア・コーチ	升形 信勝
マネージャー	

徳島クラブ

No.	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
0	板東 俊兵	0				
1	市橋 信彦	15	3	3		
3	平島 陽瑠	0				2
7	木村 領吾	6	1	1	1	1
8	堀江 剛司	2		1		
10	森 瞬也	0				
11	瀧川 恭志	0				4
20	井上 涼介	25	2	8	3	1
21	丸岡 和史	1			1	2
24	平石 侑督	14		7		4
33	谷 健二郎	1			1	2
70	酒嶋 俊介	0				
合計		64	6	20	6	16

監督	
コーチ	吉岡 博文
ア・コーチ	平石 侑督
マネージャー	杉山 柚葉

【評】

1Q：両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。序盤からお互いに激しいディフェンスの中、クリッパークラブ（クリッパー）は＃34、＃50、＃7などの3Pを、徳島クラブ（徳島）＃1、＃20などのドライブインやミドルシュートにより一進一退の展開。中盤から、徳島#1の3Pが連続して決まる。徳島が突き放し、23－15とリードして終了。

2Q：開始から2分間、両チームとも得点が入らず重い展開。そのような中、クリッパー＃50、＃34の速攻が決まり、追いかける。徳島は開始から4分間無得点の後、＃20の3P、＃24のポストプレーなどで徐々にリズムを戻したかに見えたが、中盤にアンスポーツマンライクファウルを宣告されるなどリズムに乗れない。終盤クリッパー＃34の連続シュートが決まる。前半は36－35と徳島が1点のリードで折り返す。

3Q：後半は一転して、徳島が＃20を中心に連続得点して得点すると、＃24のポストプレーも効果的に決まる。ロースコアながら着実に得点した徳島が53－45とリードして終了。

4Q：徳島はファウルがかさみ得点が鈍る。一方でクリッパーは、序盤から＃34のドライブインやリバウンドシュートを立て続けに決め、残り3分で57－58と1点差まで追い上げる。その後はお互いにタイムアウトを取りながら緊迫した展開が続くも、徳島＃20のドライブインが決まり、徳島が突き放す。最終スコアは64－59と徳島が勝利を収め、初優勝を飾った。